

グラウンドゴルフで交流 ～豊見城市から2自治会が来島～



発行者
NPO 法人いけま福
社支援センター
電話：75-2870



4月22日、豊見城市から旭ヶ丘自治会、とよみ自治会のメンバー計22名が来島し、池間島のグラウンドゴルフ愛好会との交流会が開かれました。とよみ自治会長の津森義弘さんは、昭和22年生の池間育ち。同じく昭和22年生の糸満巨男さんの案内で池間島に来島し、グラウンドゴルフを通しての交流

先月20日、今年度初のシマ学校が開催されました。今回のテーマは「サニツを楽しむ」。海が大好きな池間の高齢者と一緒に、サニツの風習や獲物をとる楽しみを共有しようと開催されました。ミスバイの浜では、「ミナンガ

サニツを楽しむ〜シマ学校〜

が実現しました。津森会長は、「自治会のメンバーで宮古島の3大大橋を観光にきました。交流ツアーとして離島に来るのは初めて。今回はこのような形で池間のみなさんとの交流を引き受けていただいています。感謝しています。」と話しています。豊見城市から来島した22名のうち、最高年齢は93歳の玉城正浩さん。グラウンドゴルフで汗を流した後は、池間食堂にて交流会が開かれました。池間島から35名が参加し、地域を超えて交流を深めました。

が実現しました。津森会長は、「自治会のメンバーで宮古島の3大大橋を観光にきました。交流ツアーとして離島に来るのは初めて。今回はこのような形で池間のみなさんとの交流を引き受けていただいています。感謝しています。」と話しています。豊見城市から来島した22名のうち、最高年齢は93歳の玉城正浩さん。グラウンドゴルフで汗を流した後は、池間食堂にて交流会が開かれました。池間島から35名が参加し、地域を超えて交流を深めました。

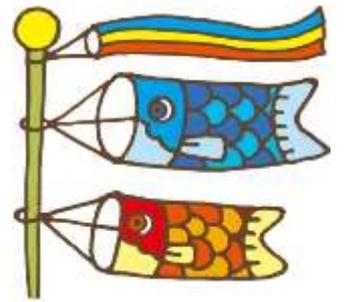


ハナ」といって打ち寄せる波を3回掬って手足や顔を洗い身を清める風習や、サニツの日の過ごし方などが子どもたちに伝えられました。潮が引いた浜では、フウヤンマ、ティラジヤ、又サ、シヤコガイなどを収獲。池間・狩俣・島尻の幼稚園生7名が参加し、オバアたちとの潮干狩りを楽しみました。





自分が思い思いに飾り付けをおこない、40匹を超えるこいのぼりが完成しました。出来上がったこのぼりは、きゆうぬふから舎の前に掲揚され、元氣よく泳いでいます。



5/5 こいのぼりの日

先月25日、生き生き教室と学童保育合同のこいのぼりづくりが行われました。色とりどりのビニール袋に各

各種総会開催

4月25日、池間学区体育協会の総会が行われました。体育協会の会長は、前年に引き続き佐渡山恒克さんが務めます。4月30日には、老人クラブの総会が池間公民館にて開催され、議題の承認とあわせて会長の推薦選挙が行われました。新会長には、勝連智さんが当選しました。新年度の役員についてはこれから選定することです。

モズク漁はじまる

先月18日より、モズクの収穫が始まりました。池間漁協では、いま収穫と選別作業の最盛期を迎えています。今年は、例年に比べて成長が悪く、今月12日頃接近予定の台風6号による影響も心配されています。台風接近前にできるだけ多くのモズクを収穫しておくと、海・陸両方で急ピッチの作業が進められています。



「池間民族」3位入賞

海の安全と豊漁を祈る那覇ハーリーが今月3日から5日までの3日間、那覇港新港ふ頭で行われ、一般競漕に出場した海洋池間民族チームが初の決勝戦で3位に入賞しました。往復430メートルコースの一般競漕Aブロックには、在沖の池間・佐良浜・西辺の3郷友会有志でつくる海洋池間民族チームのほか53チームが出場。海洋池間民族チームは決勝戦に初進出を果たし、3位入賞の大健闘でした。



今月の予定

5月23日(土) 10時〜シマ学校